

平成 21 年度第 2 回 建築学教育 FD/IT 活用研究委員会 議事概要

- I. 日時：平成 21 年 8 月 3 日(月) 午前 11 時から午後 1 時まで
- II. 場所：私立大学情報教育協会事務局会議室
- III. 出席者：若井委員長、衣袋副委員長、真下委員、寺尾委員、関口アドバイザー
井端事務局長、森下、恩田
- IV. 検討事項

IV. 資料：

- ①平成 21 年度第 2 回建築学教育 FD / IT 活用研究会会議次第
- ②平成 21 年度建築学教育 FD / IT 活用研究会名簿
- ③前回議事録（開催日：平成 21 年 6 月 15 日）
- ④～⑧ 学系分野（建築学）の学士力について各委員提出
- ⑨大学教育の分野別質保証の在り方検討委員会の資料

V. 議事概要

1. 本年度新委員の決定

- ・三原 齊 ものづくり大学技能工芸学部准教授に就任いただくことになった。

2. 学士力の詳細設計について（前回からの継続）

建築学教育分野における学士力について、提示された資料④～⑧をもとに、前回提言した「建築分野の学士力としての 4 つの能力」（1. 建築に関する学術、技術及び芸術の包括的な専門知識を習得できる。2. 生活環境の継承および構築に必要な技法を身につけることができる。3. 生命の安全、財産の保護、公共の福祉の視点から、建築を考えることができる。4. 建築に関する問題解決力や創造的思考力の基礎を身に付けることができる。）について意見交換を行った。

1) 今後まとめるにあたっての意見は以下のごとくである。

- ・学士力として、建築学系において最低限どれだけのものを抑えるべきかという視点、今回の 4 つの提言になった。
- ・JABEE 及び一級建築士に対する考え方を踏まえ、文科省の求めている独自、個性ある建築系学科・課程が網羅できれば、幅広い卒業生が排出できる。ただ、限られた時間の中で作業しなければならない。落とし所を決めおく必要がある。
- ・文科省のほうでも JABEE との関わりを明確にすることを求めている。JABEE をどう捉えたのかという説明書き、及び JABEE を踏まえ、包含し、さらに新たに付け加える。つまり、4 つの提言と JABEE、1 級建築士との関係を明示する必要がある。
- ・安心とは、情報の公開であり、情報の公開に関して建築技術者がどのような能力、知識、技術を持つ必要があるか。JABEE における横断的領域の中の技術者倫理。

2) まとめ

以下の委員長案をもとに進めていく。

1 番目は建築学教育の知識と理解についてのこと。

2 番目は建築学教育の汎用的技能。

3 番目に建築学教育の態度、思考、精度。

4 番目に建築学教育における総合的な学習経験（建築学の学士力の中でも一番大事なポイント）。

建築技術者として必要な実践的理解力、社会的なコミュニケーション能力、的確な情報伝達力などを身につけることができる、というあたりを細かく分ければ、資料にある測定方法につながる。

JABEE のスタンスを持ちながら、大きく変わった一級建築士及び二級建築士等に向けた枠組みを職業的に抑えながら絞り込んでいく。

3. 次回の委員会開催日

平成 21 年 9 月 10 日 午後 4 時 30 分から午後 6 時 30 分

4. 次回までの宿題

委員長が示す試案への追記・修正等を 8 月 31 日まで提出